

ネットワーク通信

山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

No44

2021.12.17



【トピック】

今回は、次の行事の実施状況をお知らせします。

- 第32回「障害者の主張」大会
- やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語作品展
- 第8回山梨県障害者芸術・文化祭

事務局：山梨県障害福祉課
〒400-8501
山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1460
Fax 055-223-1464
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

文責：河野敏三 ・ 志田市造
(山梨県障害者差別解消推進員)

第32回「障害者の主張」大会、 やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語 作品展

第32回「障害者の主張」大会（12月8日）と、やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語作品展（12月6日～12月9日）が、山梨県防災新館オープンスクエアを会場として行われました。

第32回「障害者の主張」大会

この大会は、毎年、障害者週間（12/3～12/9）に合わせて、県民の皆様が障害のある方の日頃の思いや障害について理解を深め、障害のある人もない人も共に暮らす「共生社会」を実現するために開催されています。



*発表の様子



講評する小畑文也
山梨大学大学院教授

最優秀賞 「2年生、只今社会勉強中」

宮川 綾香

先天性弱視である発表者は、機能訓練指導員として介護老人福祉施設で働き始めて1年半。働き始めて見えてきた現実と見えにくいのが故の課題。苦難を克服し利用者とのふれあいから生まれてきた喜び。自分が役に立っているという喜びと、仕事への情熱、そして、支えてくれた周りへの感謝の思いを語る。

優秀賞 「未来は明るい」

高部 健一

普段の何気ない日常がどれだけありがたいことかを知れば、普通に過ごせるだけで幸せ。心の病を患った発表者は、幸せになるために沢山の「ありがとう」を言う。明るい言葉を使って人生の軌道を明るい方へ。人生は実験。これからの人生を明るく生きようとする思いを語る。

特別賞 「陸上を始めて15年の思い」

五味 翔太

小学校4年生で出会った陸上競技。6年生で出場した大会で初優勝。中学校駅伝での全国制覇。社会人で目指したパラリンピック。数々の大会での入賞とケガとの戦い。陸上で培ったものは、障害があっても表舞台上で戦えること。子どもたちに夢と希望を持ち続けてほしいこと。その熱い思いを語る。

特別賞 「思いやりの花を咲かせよう」

渡邊 美夏

病を患い、21年間勤務した看護師の仕事が6年前に退職した発表者。働けなくなった今、病気や障害で苦しんでいる人をどのようにしたら救えるのか、「いつか動けなくなり寝たきりになってしまうのなら動けるうちにボランティア活動をし思いやりの花を咲かせたい。」ヘルプマーク普及活動を通しての思いを語る。

努力賞 「命の大切さと 一人一人の守るべきもの」

吉田 沙緒里

誰も予測ができなかった新型コロナウイルス感染症は、生活を一変してしまい多くの方が命を落としている。また、無差別事件のニュースを目にして思うことは、傷ついた人も傷つけた人もかけがえのない大切な命があること。悲しい事件はもう起きてほしくない。幸せで平和になってほしいという切実な願いを語る。

努力賞 「この9年間の実践」

上村 優

初めて障害者の主張大会に参加したのが9年前。題名は「前向きに生きる」。ピアカウンセリングでの仲間との交流。農業プログラムでの野菜作り。視覚障害者の集いへの参加で知った盲導犬の必要性と盲導犬の入場可能ステッカーの啓蒙活動。今も様々なことに取り組む前向きな気持ちを語る。

やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語の作品展



県では、毎年、障害のある人とない人が相互に人格と個性を尊重し合い、共に暮らすことができる「共生社会」への意識を高めることをテーマに、ポスターと標語を広く県民から募集し優秀作品を表彰する取組を展開しております。

作品展では、応募していただいたポスター20点（小中学生の部17点、一般の部3点）、標語350点（小中学生の部235点、一般の部115点）を展示しました。受賞作品を紹介します。

「心のバリアフリーを広げる標語」受賞作品

【小中学生の部】

- 優秀賞「大切にしたい あなたらしさとその生き方」
- 佳作「支える手 つないでつないで 皆笑顔」
- 佳作「ひろげよう よりそう心と 思いやり」

- 小林 音々 (忍野小学校5年)
- 後藤 千紘 (笛南中学校1年)
- 大森 成悠 (忍野小学校2年)

【一般の部】

- 優秀賞「差し出す手 寄り添う気持ちが 背中押す」
- 佳作「小さな手大きな心繋いでく」
- 佳作「差し出す手あなたと私を つなぐ鍵」

- 加納 愛華 (甲府昭和高校2年)
- 近藤 里奈 (甲府昭和高校2年)
- 中込 希 (巨摩高校2年)

「心のバリアフリーを広げるポスター」受賞作品

【小中学生の部】

- 優秀賞；『想いやりの心』
桂原 礼
(竜王中学校3年)



- 佳作；『心の温かさ』
重田 泉
(春日居中学校2年)



- 佳作；『ともに笑顔で』
猿樂 りお
(春日居中学校3年)



【一般の部】

- 優秀賞；『飛びだそう 共に支え合う 未来へ』
秋山 聖菜
(山梨県立大1年)



- 佳作；『大切なマーク』
楠本 歩未
(駿台甲府高校2年)



- 佳作；『小さな 思いやり』
村井 真歩
(駿台甲府高校2年)



山梨県障害者芸術・文化祭



「共生」をテーマに「第8回山梨県障害者芸術・文化祭」が、令和3年11月5日（金）に開催されました。障害のある人とない人が共に楽しみ、喜び、互いを理解しあうことができる空間を創ることで「共生社会」の構築に向けた実感・共感を広げることを目指し、イベントが進められました。甲府駅北口よっちゃばれ広場で、開会式・オープニングセレモニーと障害者福祉施設による物品販売が行われました。軽快なリズムに乗り、「Kie&Vividboys」のダンスの舞台発表も行われました。

手指消毒やソーシャルディスタンスの確保など、コロナ対策に十分留意する中で開催されました。当日は天気も良く、物品販売も大盛況でした。

